

「当面する内外情勢と日米同盟関係」

安全保障スペシャリスト 拓殖大学総長、元防衛大臣

森本 敏 氏 (もりもと さとし)

参加
無料

2018年 2月8日 (木)

時間: 14:00~15:30 (13:00開場)

場所: 高槻現代劇場 中ホール 高槻市野見町2-33

定員: 400名 定員になり次第締め切らせていただきます。
ご予約がない場合、ご入場いただけません。あらかじめご了承ください。

もりもと さとし
森本 敏



【プロフィール】

昭和16年生まれ。防衛大学校理工学部卒業後、防衛庁入省。昭和52年に外務省アメリカ局安全保障課に出向。昭和54年外務省入省。在米日本国大使館一等書記官、情報調査局安全保障政策室長など一貫して安全保障の実務を担当。専門は安全保障、軍備管理、防衛問題、国際政治。平成4年より野村総合研究所主席研究員(～平成13年3月)。平成7年より慶應義塾大学特別招聘教授・兼任講師、同大学院兼任講師(～平成13年3月)。平成9年より中央大学・同大学院客員教授(～平成13年3月)。平成12年より政策研究大学院大学(～平成15年)と聖心女子大学(～平成23年3月)で非常勤講師兼任。平成12年より拓殖大学国際学部教授(～平成19年3月)、平成17年より同大学海外事情研究所所長(～平成24年6月)、平成25年より同大学特任教授(現職)。平成21年8月防衛大臣補佐官(～同年9月)。平成24年6月第11代防衛大臣に就任(～同年12月)。平成27年10月防衛大臣政策参与に就任。平成28年3月拓殖大学総長に就任。

【主要著書】

「防衛装備庁ー防衛産業とその将来ー」(編著、海竜社、平成27年12月)「エネルギーと新国際秩序」(共著、エネルギーフォーラム、平成26年11月)「私の死生観」(共著、角川ONEテーマ21、平成26年10月)「武器輸出三原則はどうして見直されたのか」(編著、海竜社、平成26年3月)「オスプレイの謎。その真実」(単著、海竜社、平成25年8月)「国防軍とは何か」(共著、幻冬舎ルネッサンス新書、平成25年6月)「それでも日本は原発を止められない」(共著、産経新聞出版、平成23年10月)「日本の瀬戸際ー東アジア最大の危機に日本は生き残れるか」(単著、実業之日本社、平成23年2月)「普天間の謎ー基地返還問題迷走15年の総て」(単著、海竜社、平成22年7月)「日本防衛再考論ー自分の国を守るということ」(単著、海竜社、平成20年5月)「岐路に立つ日本の安全ー安全保障・危機管理政策の実際と展望ー」(監修、北星堂、平成20年1月)「国民として知っておきたい日本の安全保障問題」(編著、海竜社、平成19年12月)「日米同盟の危機ー日本は孤立を回避できるかー」(共著、ビジネス社、平成19年4月)「国防の論点」(共著、PHP研究所、平成19年3月)「米軍再編と在日米軍」(単著、文藝春秋社、平成18年9月)「森本敏の眼ー日本の防衛と安全保障政策」(単著、グラフ社、平成17年3月)「有事法制」(共著、PHP研究所、平成15年1月)

【主要論文】

「安全保障法制と集团的自衛権問題」(防衛法研究、平成27年4月臨時増刊号)「日米同盟の現状と将来ー転機と機会ー」(海外事情、平成26年7・8月号)「東日本大震災と国家の危機管理ー課題と問題点」(海外事情、平成23年7・8月号)「機動的運用主眼の『動的防衛力』へー新防衛大綱と日本の安全保障」(改革者、平成23年2月号)「日米同盟の深化と課題」(海外事情、平成23年1月号)「東アジアの安全保障と日米同盟」(海外事情「報告」、平成23年)

ご予約方法 お口座をお持ちでない方も、どうぞお気軽にお申込みください

【お電話によるお申込み、お問い合わせ先】

072-681-2915 <セミナー専用ダイヤル>

受付時間 平日: 8:40 ~ 17:10

※ご利用の際は、お電話番号をお間違えないようご注意ください。

【WEBからのお申込み】

野村証券 高槻 検索

高槻支店【支店開催セミナー】よりお申込みください。
当社ホームページ <http://www.nomura.co.jp>

当社では、駐車場をご用意いたしておりません。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

本案内に記載のセミナーでは、セミナーでご紹介する商品等の勧誘を行う場合があります。

野村証券株式会社 高槻支店 ☎569-0804 高槻市紺屋町3番1-101